

平成十六年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「春」

期間 平成十六年四月一日～四月末

投句数 二、一〇二句

特選三句

天

萬物の流轉する中虚子祀る

広島県広島市

和村ひろし

地

たましひのつぶやきに似て初ざくら

埼玉県朝霞市

進 篤子

人

鶯や五山をつなぐ仏みち

神奈川県座間市

佐藤光夫

入選二十句

鎌倉は路地の奥にも花の寺

神奈川県鎌倉市

篠原敏夫

観音の眼のやさし花の昼

神奈川県相模原市

中川冬紫子

鎌倉やどの坂ゆくも落椿

神奈川県茅ヶ崎市

秋元重久

石楠花の花の終りは由比ヶ浜

神奈川県横浜市

山下省三

紫木蘭花鳥諷詠記念館

北海道札幌市

古川照子

雨となる焼野の鴉歩きけり

神奈川県鎌倉市

釵持善夫

流鏑馬の馬場の箒目春日影

神奈川県鎌倉市

遠藤金子

虚子立子向き合ふ墓や木の芽風

神奈川県横浜市

古屋道子

大谷戸も小谷戸も桜さくらかな

神奈川県鎌倉市

松崎靖弘

桜貝採ってみたくて由比ヶ浜

東京都板橋区

渡辺里佳

花咲けど鬼籍に入りし友ふたり

神奈川県鎌倉市

坂本順子

牡丹の偽りのなき白さかな

神奈川県横浜市

吉房正隆

鶯に読経の声や円覚寺

東京都八王子市

富田 準

夕暮れに遊び足りない雀の子

東京都練馬区

松本千秋

かまくらやひかりあふれるはるのみち

神奈川県横須賀市

小林理甫

春宵や途中下車して海に出づ

神奈川県鎌倉市

中谷 正

鐘の音にさそわれてゆく花衣

神奈川県茅ヶ崎市

神谷み以

錠前の俳句ポストや諸葛菜

神奈川県茅ヶ崎市

深瀬和子

鞆や頼朝の名の小公園

神奈川県鎌倉市

吉良江美子

満開の桜の下の長谷の市

神奈川県鎌倉市

河野靖生

(順不同)